

コンテナ苗植栽研修を開催

近年、造林の省力化、低コスト化等の観点から県内各地でコンテナ苗植栽の普及がすすんできています。

しかし、当管内民有林ではこれまでコンテナ苗の植栽事例がありませんでした。

そのような中、平成27年度に岩泉町内の国有林でコンテナ苗の植栽がおこなわれたとの情報を得たことから、森林管理署に講師をお願いして、コンテナ苗植栽の事例及び実技研修を2月9日に実施しました。

研修は2部構成とし、室内研修と屋外研修を行いました。

室内研修では、三陸北部森林管理署の茂木森林ふれあい担当様からコンテナ苗の概要について、同じく三陸北部森林管理署の菊池森林官様から大牛内国有林で行なわれたコンテナ苗植栽事業についてそれぞれご説明をいただきました。

その後会場を移して、岩泉町役場に隣接する町有林にて屋外研修としてコンテナ苗植栽道具の使い方と実演を示していただきました。

実演では、三陸北部森林管理署に準備いただいた「ディブル」、「スペード」、「プランティン

グチューブ」の各種コンテナ苗植え付け器具を用いてカラマツコンテナ苗を植栽しました。

コンテナ苗は植栽する時期を選ばないとも言われていることから、今回の研修で植栽したカラマツの今後の育成を見守っていきたいと考えています。

参加者は6名と少数でしたが、室内研修で多くの質問が出され、予定時間を超過して活発かつ有益な意見交換ができました。

また、屋外研修では、「プランティングチューブは、しゃがんだり立ったりする動作が無く、身体にかかる負担が軽くて済むことが実感できた。」などの感想が出されました。

岩泉町では、平成28年度に町有林にカラマツコンテナ苗を植栽する予定とのことで、今回の研修は大いに参考になったこととおもわれます。

快く講師をお引き受けいただいた三陸北部森林管理署の菊池様と茂木様、及びカラマツコンテナ苗を御提供いただいた二戸市浄法寺の大森茂男様(種苗業)にはこの紙面をお借りして、感謝の意を表したいと思います。

